

2024年度 東海北陸近畿地区母子保健事業研修会 開催要綱

1 テーマ 子どもの死を予防しよう！～CDRに取り組む意義と運用そして未来～

2 目的

CDR (Child Death Review: 予防のためのこどもの死亡検証) とは、子どもの死亡事例を多角的に検証し、医療、福祉、教育など、関係機関が連携して、将来同じような事例が起きないための予防策を講じるための体系的な取り組みである。

国内においても、2018年に成立した成育基本法にはじめて CDR が書き込まれ、令和2年度から複数の自治体で CDR のモデル事業が実施されている。

本研修会では、実際の事例の検証から取り組む予防活動の重要性や、事故予防の取組の実践事例を知ることにより、母子保健における予防の取り組みの一層の推進を図る機会とする。

3 日時 2024年10月11日(金)10:00～15:45 (受付9:30～)

4 会場 ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター 大会議室
〒520-0801 滋賀県大津市におの浜 1-1-20

5 対象 東海北陸近畿地区各府県および市町村の保健・福祉・医療行政担当者
保健師、助産師、看護師、その他母子保健に携わる関係者

6 定員 200名(収容人数216名・スクール形式)

7 受講費 無料

8 主催 滋賀県、(一社)日本家族計画協会

9 後援 こども家庭庁(申請中)、公益社団法人日本助産師会(申請中)

10 申込方法

下記のアドレスに電子メールでお申し込みください。

《 申込先 》 滋賀県庁 子ども若者部子育て支援課
アドレス boshihoken@pref.shiga.lg.jp
電話 077-528-3567 FAX 077-528-4868

《 申込締切 》 令和6年10月7日(月)

11 その他

午前、午後のみ参加も可能です。

昼食は各自でご用意ください(*研修会場内での飲食もできます)。

12 プログラム

*敬称略、時間は目安です。

区分	開始時間		内容
受付	9:30	30分	受付
開演	10:00	5分	挨拶 滋賀県
	10:05	5分	挨拶 (一社)日本家族計画協会
基調講演	10:10	65分	講演 「自治体 CDR 事業の意義と展望について」(仮) 講師 国立成育医療研究センター 政策科学研究部 部長 竹原 健二
実践報告 ①	11:15	45分	「滋賀県の CDR の取り組みについて」 滋賀医科大学 社会医学講座 法医学部門 教授 滋賀県 CDR 関係機関連絡調整会議会長 一杉 正仁
休憩	12:00	60分	
行政説明	13:00	40分	行政説明 「2024 年最近の母子保健を取り巻く状況」 こども家庭庁
情報提供	13:40	30分	情報提供 日本家族計画協会(JFPA)
休憩	14:10	15分	
実践報告 ②	14:25	80分	コーディネーター 国立成育医療研究センター 政策科学研究学部 部長 竹原 健二 ●新生児科医師の立場から 「周産期死亡症例事例検討とその成果について」 滋賀医科大学 総合周産期母子医療センター 特任講師 越田 繁樹 ●小児科医師の立場から 「母乳育児における窒息事故予防について」 滋賀医科大学 小児科学講座(救急・集中治療部 兼任) 助教 高島 光平 ●看護師の立場から 「子どもの事故予防の取組について」 滋賀県立小児保健医療センター 小児看護専門看護師 馬場 恵子 ●行政(保健師)の立場から 「CDR 推進にむけた関係機関との連携について」 滋賀県 健康医療福祉部 医療政策課 主査(保健師) 村上 真智子
閉会	15:45		